

ノルウェージャンクルーズラインが 2025/26 年秋冬クルーズを発表

充実度を増したアフリカ、アジア、南米、カリブ海方面等々のクルーズが販売開始
エスケープがブレイクアウェイプラスクラスの船として初めてニューオリンズから出航！
西カリブ海 7 泊クルーズシーズンに

最新船ノルウェージャン ビバが 2025 年 12 月に
テキサス州ガルベストンでデビュー



7泊西カリブクルーズシーズンに向けニューオリンズを出港
初のブレイクアウェイクラス、ノルウェージャン エスケープ

2023 年 12 月 21 日(東京) - 57 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきたノルウェージャンクルーズライン(NCL)が 2025/26 年秋冬クルーズを発表しました。

ここ数年、上昇トレンドが続いている中、NCL ではクルーズ需要の継続的な伸びに同調する形で 11 月にも好調な売り上げを記録しています。

ノルウェージャンクルーズ社長デビッド・J・ヘラは「お客様のご期待がそのまま数字となって届いています。過去数か月の堅調な予約数の伸びは、多くのクルーズ予約が入る来年年始からのウェイブシーズンと呼ばれる次期にも大いに期待できるという指標です。ここ数年、私共ではより多様でより長期の旅程



をご提供してきましたが、こうした上向きの勢いは、私共の提案がお客様のお気に召し、私共の船による世界探訪を楽しみにされていることの証です。2025年と2026年の新クルーズは、NCLのどの船であれ、より多くお客様のご要望にお応えし、夢の目的地で思い通りの休暇を楽しんでいただけたらと思います。

[アフリカ](#)、[アジア](#)、[南米](#)、[カリブ海](#)などのエキゾチックで魅力的な寄港地のクルーズを含めた地球の隅々に至る450のデスティネーションを巡るNCLには、数限りない選択肢が揃っています。どのクルーズも、乗客の満足度を第一に、最も人気があり、最も評価の高い寄港地を織り込みながら、新しい隠れた宝石も紹介できるよう、念入りにキュレーションされています。NCLの旅程であれば、究極のクルーズ体験をしながら寄港地での没入感に浸り、そしてほぼ毎日新しい素晴らしい場所で目覚めることができます。

今回発表されたシーズンのクルーズでは、ノルウェー جان サンが日本の京都(神戸)を含むアジアの港を初めて訪れ、新造船ノルウェー ジャン ビバがテキサス州ガルベスタンを初めて母港としてカリブ海クルーズを催行するなど、数隻が新たな寄港地でデビューを飾ります。

2025/26 秋冬クルーズのハイライトは以下の通り:

アジア

ノルウェー ジャン サンの[アジア](#)シーズンが、2025年11月3日にスタートします。東京を出航し、サンにとっては初寄港の済州島(韓国)と京都(神戸)に寄港し、また名古屋や大阪など日本の人気都市にも立ち寄りながら仁川(韓国)に至る11泊のクルーズです。2025年11月14日、やはり船にとって初めてとなる韓国の仁川を出港し、広島寄港を含む11泊のクルーズで東京に戻ります。次いで2025年12月から2026年3月にかけては、シンガポール、タイのレムチャバン、台湾の基隆など、複数の乗船港を選択できる11泊から15泊の東南アジアクルーズに就きます。

オーストラリア&ニュージーランド

ノルウェー ジャン スピリットが、2025年12月から2026年3月までの間、[オーストラリアのシドニーとニュージーランドのオークランド](#)を発着の没入感満載クルーズを運航します。さまざまな港で乗下船できることから、クルーズ前後の地上の旅にも繋げやすく、現地の文化や目的地にどっぷりと浸ることができます。日程は11泊から14泊。ほとんどのクルーズがオーストラリアのメルボルン、ニュージーランドのネイピアやダニーデンなど、人気の港に寄港します。クルーズによっては、ダウトフルサウンド、ミルフォードサウンド、ダスキーサウンドなど、壮大なニュージーランドのフィヨルドを訪れます。



アフリカ

2025年11月から2026年3月まで、ノルウェー جان・ドーンが、南アフリカのケープタウン、モーリシャスのポートルイス、カタールのドーハ等を出航地とする、エキゾチックで寄港地重視型[アフリカクルーズ](#)を実施。シーズンのスタートは2025年11月2日、スペインのバルセロナから南アフリカのケープタウンに至る21泊の再配置クルーズから。途中、カーボベルデのサンタマリア、モロッコのカサブランカ、同アガディールなど人気の寄港地を訪れます。南アフリカのケープタウンとモーリシャスのポートルイスを発着地とするクルーズを増やしてほしいとの要望を受け、人気の高いマダガスカルのアンツィラナナとノシベに寄港し、南アフリカのリチャーズベイに1泊してサファリツアーで地元の野生動物を探検したり、南アフリカの歴史を学んだり、アルカンストランド・ビーチでリラックスした午後を楽しんだりすることができる12泊の4クルーズを催行します。

カリブ海

NCLの最新客船ノルウェー・ジャン・ビバは、2025年12月から2026年4月にかけて初めてテキサス州ガルベスタンを母港にクルーズを催行します。この港は2023年12月15日にノルウェー・ジャン・プリマが初就航シーズンをスタートさせる場としても注目されています。ノルウェー・ジャン・ビバのウインターシーズンには、メキシコのコスメルとコスタマヤ、ホンジュラスのロアタン、ベリーズ南部のNCLリゾートスタイル destinations であるハーベストケイなどを訪れる7泊の西[カリブ海](#)周遊クルーズが実施されます。また、2026年1月10日と1月24日には14泊の東カリブ海クルーズを催行。寄港地は船としては初寄港のケイマン諸島のジョージタウン、NCLのプライベートアイランドであるバハマのグレートスターラップケイ、英領ヴァージン諸島のロードタウン(トルトラ)、アンティグアのセントジョンズ(アンティグア)、セントマーチン島のフィリップスバーグ、プエルトリコのサンファン、ドミニカ共和国のプエルトプラタ、メキシコのコスメル。

2025年11月から2026年4月にかけては、ノルウェー・ジャン・エスケープがニューオーリンズを母港に7泊の西カリブ海周遊クルーズを運航します。ブレイクアウェイプラスクラスの船がこの港を利用するのは初めてとなります。また、2026年2月1日と2月22日には、コスタリカのプエルトリモン、パナマのコロン、コロンビアのカルタヘナを同船としては初めて訪れる14泊の南カリブ海クルーズも予定されています。

ノルウェー・ジャン・スカイはドミニカ共和国のラロマーナを母港とする2シーズン目を迎えます。2025年12月から2026年4月にかけて、オラニエスタッド(アルバ)、クラレンダイク(ボネール)、ウィレムスタット(キュラソー)、ABC諸島など、絵のように美しいさまざまな港に寄港する7泊、9泊、12泊の南カリブ海周遊クルーズを実施。2026年1月5日発9泊のクルーズ中には、ドミニカ共和国の南西海岸をクルーズし、美しいビーチで有名なカボ・ロホに初寄港します。ほとんどの旅行者が入国ビザを必要としないドミニカ共和国では、カリブ海クルーズで思う存分憧れの地を楽しむことができます。

南アメリカ

南米クルーズは、2025年11月20日のポルトガルのリスボンを出て、途中ポルトガルのカーボベルデやブラジルのいくつかの都市を訪れながらリオデジャネイロに至る大西洋横断クルーズから始まります。2025年12月4日、ブラジルのリオデジャネイロ発 17 泊クルーズに出航したノルウェージャン スターは、アルゼンチン、ウルグアイ、チリで寄港しながら、南極点に向けて南極の paradisa ベイやエレファント島などを経由します。2025年12月21日、アルゼンチンのブエノスアイレス発 14 泊の周遊クルーズも、一生に一度は行きたい南極の paradisa ベイやエレファント島を巡ります。これらクルーズはウルグアイのモンテビデオ、アルゼンチンのプエルトマドリンとウシュアエア、チリのプンタアレナス、南大西洋の遠隔地にある群島のフォークランド諸島のスタンリーにも寄港します。

パナマ運河

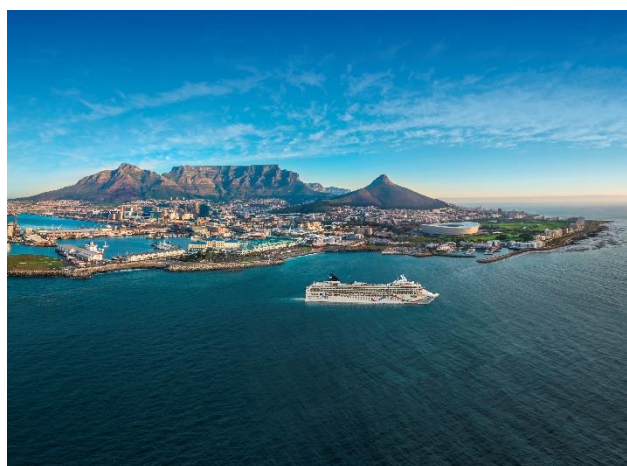
2025年10月から2026年4月にかけて、ノルウェージャン ジェイドが 11 泊から 17 泊のクルーズで人気の パナマ運河 を通過します。乗船地と下船地は、マイアミ、ニューヨーク、タンパ(フロリダ州)、そして今回同船では初めとなるペルーのカヤオなどが予定されています。

2026年3月11日にペルーのカヤオを出航する 17 泊のクルーズは、南米西海岸と中米を巡るもので、同船としては初めてとなるエルサルバドルのアカフトラ、メキシコのワウラとマンサニージョに寄港。そして人気のメキシコのプエルトバジャルタにも 2008 年以來の寄港を果たします。12 か所の寄港地と 4 日間の終日航海を経て、カリフォルニア州サンディエゴで下船となります。

ノルウェージャンクルーズラインの受賞歴に輝く 19 隻の客船と世界各地のクルーズについての詳細および予約は <https://www.ncl.com/jp/ja/>



2025年12月から2026年4月にかけてテキサス州ガベルストーンを母港とするノルウェージャン ビバ



南アフリカ、ケープタウンでオープンジョーのクルーズを展開するノルウェージャン エスケープ



ノルウェージャンクルーズラインについて

ノルウェージャンクルーズラインはその 57 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズバケーションを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全 19 隻の保有船が、ノルウェージャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ(バハマ)やハーベストケイ(ベリーズ)を始め、450 もの世界の人気のデスティネーションを隈なく巡っています。ノルウェージャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンターテイメントとダイニングオプション、さらには 1 人旅用ステートルーム、クラブバルコニースイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェージャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook、Instagram、Tik Tok、YouTube は@NorwegianCruiseLine。Twitter は@CruiseNorwegian。

ノルウェージャンクルーズラインはノルウェージャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は <https://www.nclhld.com/>

画像提供はノルウェージャンクルーズライン

【発行元】ノルウェージャンクルーズライン PR 株式会社フレア